

## いつだって好奇心 手を伸ばせばそこに本



### みんなの読書活動

市制施行50周年を記念して「みらい懇談会提言書～夢と希望に満ちたこれからの守山」の一つに「読書日本一のまちづくり」が掲げられました。

岡市立図書館 ☎・☎(583)1639 FAX(583)6949

**質問** 探している本が図書館にないけど何とかありませんか？

**答** 日本中の図書館から本を探して、貸し出しします

市立図書館に探している本がない場合は、まず県内の図書館で持っているところがないか調べ、持っている図書館に借用依頼をします。県立図書館を中心としたネットワークがあり、巡回車で毎週1回、お互いに貸し借りする本を市町の図書館へ届けます。

県内の図書館が持っていない本は、全国の図書館から探します。持っている図書館から郵送してもらい、届いた本を市立図書館のカウンターで貸し出します。日本中の図書館同士が協力してお互いに持っていない本を補い合うので、たいいていの本は用意できます。

ほかにも論文や記事の複写を取り寄せたり、大学図書館などを利用するための紹介状を発行したりします。利用者の探している本を確実に届けるのは、図書館の大事な仕事の一つです。



巡回車で届いた県内図書館の本

## 展示会場の工夫

佐川美術館 アートコラム 64

学芸員…佐川美術館  
上村友理



会場に入った時、思わず「おっ！」と目を見張った展示会に出会ったことはありませんか。

例えば、展示壁面の色。背景の色が変わるだけで、作品の輪郭がはつきりと見えるように感じられます。加えて、作品から受ける印象の変化に驚きを感じたことはないでしょうか。作品に合わせて変化する壁面の色や配置など、センスを感じさせる会場づくりには感心させられることが多いです。

当館の展示会で例を挙げると、2014年に開催した「北斎とリヴィエール ―二つの三十六景と北斎漫画―」では、「富嶽三十六景」の展示壁面を赤、「北斎漫画」を白、「エッフェル塔三十六景」を青と、フランス国旗を連想させるトリコロールのカラーリングを展示空間に演出しました。

また、今春開催した「バンクシー展」では、壁面の色を全体的に彩度の高いポップカラーで統一することで、ニューヨークのヒップホップ文化を出発点とするグラフィティアートと調和した空間を作り出しました。続く夏季開催の「ピカソ展」でも色運びにこだわり、青の時代にはブルグレー、バラ色の時代にはピンク、力強いタッチの作品にはモノクロ色を用いて、作品の魅力をひきたてるよう工夫しました。

展示室の壁面の色は、作品をより魅力的に見せるだけでなく、展示会全体の印象作りにも欠かせません。

少し視点を変わると見えてくる展示の工夫。作品鑑賞だけでなく、会場全体の雰囲気も楽しんでみてはいかがでしょうか。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話☎(585)7800でお問い合わせください。